静岡県立美術館



所 在 地:静岡県静岡市駿河区谷田53番2号建築面積:6,624.07㎡

延床面積:9,238.51㎡

構造・規模:鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階

改修電気設計:設備設計共同企業体コバヤシ・モア 改修電気でま。好中電気であり出

改修電気工事:府中電気工事(株) 改修工事完成:平成22年6月

S49

開かれた美術館を目指し、企画展示、収蔵品展示をはじめ、講習会、講座などが開催されている静岡県立美術館。 長年の経過で設備の老朽化に伴い、照明はLEDに更新され、快適な観賞環境を確保しつつ省エネを実現。

「風景とロダンの静岡県立美術館」として名高い幅広い作品を収集・展示

昭和61年4月に開館した静岡県立美術館本館は、17世紀以降の東洋・西洋の風景画や水彩画を中心に幅広い収集と企画展示が開催されています。また、平成6年3月にオープンしたロダン館は、ロダンの調刻「地獄の門」、「考える人」等32点の彫刻を展示する国内唯一の美術館として知られています。

築25年を迎えた本館は、長年の経過による設備の老朽化に伴い、環境にも配慮して改修工事を実施。照明設備はLED照明に更新され、大幅な省エネ、CO2の削減が図られています。

LED照明に更新し、快適に観賞できる視環境を確保しながら、大幅な省エネを実現

広いスペースを有し、高天井となっているエントランスホールの照明は、既存の150W及び200W白熱電球ダウンライト中心からLEDダウンライト2000シリーズ中心(電球色相当、消費電力27W、器具光束1200lm)に更新。既存と同じ位置に同じ台数で、天井色に合わせて色加工塗装しています。これにより、ほぼ同等の明るさ(1351x)を確保しながら約75%の大幅な消費電力が削減されているとともに、長寿命(40,000時間)によるランプ交換の手間を軽減しています。2階へ導く階段の照明はLEDダウンライト1500シリーズに更新し、安全性に不安のない明るさを確保しつつ、省エネを図っています。

創作活動の発表の場として利用されている 1階の県民ギャラリーの照明は、既存では100 W電球ダウンライトと随所に100Wビームランプスポットライトが設置されていましたが、更新ではLEDダウンライト1500シリーズを使用し、随所にLEDビームランプ形スポットライト(電球色相当、消費電力9.0W)を配置。来館者に疲れの少ない快適な観賞ができるよう、少し控えめの適正照度に設定しています。

2階ホール(企画展示)の照明は、既存の135 WビームランプスポットライトからLEDビームランプ形スポットライト(電球色相当、消費電力9.0W、平均演色評価数Ra70)に更新。熱線もほとんどないため、展示物の損傷の心配もなく、形、色、テクスチュアを美しく再現する照度を確保しながら省エネを図っています。



エントランスホールの照明 高天井空間となっているため、長寿命・高効率のLEDダウンライトを採用し、ランプ交換の手間を軽減



エントランスホール柱周り LEDダウンライトを円形に配置



ミュージアムショップの照明 LEDダウンライトと LEDビームランプ形スポットライトによる照明



2階へ続く階段部 歩行に不安のない明るさを確保しつつ省エネを図るとともに、ランプ交換の手間も軽減



LEDダウンライトに更新したサブエントランス

王な照明恭具一覧				
設置場所	器 具 名	形 名	台 数	備考
館内	LEDダウンライト(特注品)	LEDD-20001ML-LS9(改)	76	LED 消費電力:27W
		LEDD-15001ML-LS9(改)	154	LED 消費電力:21W
		LEDD-70001ML-LS8(改)	89	LED 消費電力:13.3W
		LEDD-66001ML-LS1(改)	20	LED 消費電力:6.9W
	LED軒下ダウンライト(特注品)	LEDD-70901ML-LS8(改)	31	LED 消費電力:13.3W
	スポットライト	IBP-3521 (K) (改)	46	LED電球ビームランプ形 消費電力:9.0W